

# 令和元年度 名古屋市在宅医療・介護連携推進会議

日 時：令和2年1月27日（月）午後2時

場 所：名古屋市医師会館 6階講堂

出席者：別紙参照

名古屋市医師会 服部会長、名古屋市健康福祉局 山田長寿社会企画監の挨拶後、名古屋市医師会 足立副会長を議長とし、推進会議を開催した。

## 〈議 題〉

### 1. 名古屋市在宅医療・介護連携推進事業／在宅医療体制の整備事業について

#### (1) ACP 研修会（概論編）について

◎名古屋市医師会事務局より資料に基づき説明した。

在宅療養者を支える多職種が本人の意思決定を支援するプロセスについて理解を深めるために、令和元年度のはち丸在宅支援センターにおける多職種連携研修会の一環として、市内統一の内容にて「ACP 研修会（概論編）」を実施している。研修会のねらいを〈ACP に関する基礎的な知識の習得〉、〈多職種チームによる意思決定支援の理解〉、〈多職種の実践に ACP が含まれていることへの理解〉として、国立長寿医療研究センター 三浦久幸先生監修のテキストを基に講義及びグループディスカッションを行っている。

#### (2) 在宅医療バックアップ体制について

◎名古屋市医師会事務局より資料に基づき説明した。

- ・後方支援病院による急変時サポート体制については、各区医師会の協力の下、各区における後方支援病院の運営体制を決定した。
- ・在宅医療サポート医による看取りサポート体制については、長期休暇以外にも通常の土日、3連休にも利用申請が寄せられている。

### 2. はち丸ネットワークについて

#### (1) リニューアルについて

◎名古屋市医師会事務局より資料に基づき説明した。

現場からの要望を基にはち丸ネットワークのリニューアルを行った。主な内容としては、チャット機能の導入、モバイル版の新設を行い、利用者の利便性の向上を図った。

#### (2) 救急隊による活用について

◎名古屋市消防局より資料に基づき説明した。

平成31年1月4日より、傷病者の円滑な病院搬送を目的として、市内全43救急隊が保有するタブレット端末において、はち丸ネットワーク登録患者の閲覧が可能となったことに伴い発生した奏功事例について報告した。

### 3. なごや在宅医療・介護連携ハンドブックについて

◎名古屋市医師会事務局より資料に基づき説明した。

- ・平成27年3月発行の「名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン」について、昨年度、ワーキンググループを設置のうえ、内容の検討を行い、令和元年6月に「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック」を発行した。

- ハンドブックは、在宅で療養を希望する市民を多職種が連携して支援するための手引きとして、在宅の主要3場面（在宅療養・入退院・看取り）を取り上げており、A5サイズのカラー版として活用しやすい形に改良した。
- ハンドブック及びハンドブックに掲載している「入退院時情報提供書」については、はち丸在宅支援センターのホームページよりダウンロードが可能。

#### 4. 名古屋市在宅医療・介護のしおりについて

◎名古屋市医師会事務局より資料に基づき説明した。

- 医療と介護の多職種の支援を受けながら、希望すれば最期まで自宅で生活できることを市民に知っていただくことを目的として、「北区在宅医療・介護のしおり」を基に、「名古屋市在宅医療・介護のしおり」を作成した。
- しおりには、イラストによる在宅の多職種及びサービスの紹介、また、様々な状況での在宅療養について説明している。
- なごや在宅医療・介護連携ハンドブック同様、はち丸在宅支援センターのホームページよりダウンロードが可能。

#### 5. 各団体における取り組み状況等について

◎各委員より資料に基づき説明した。

- 名古屋市医師会 在宅医療・介護連携委員会 委員長の古山委員より、中村区における取り組みについて説明した。
- 愛知県医療ソーシャルワーカー協会 会長の小林委員より、第68回公益社団法人日本医療社会福祉協会全国大会（あいち大会）について情報提供を行った。
- 愛知県歯科衛生士会より、「口から食べる」支援について情報提供を行った。